

株式会社ソフトフロント

2009年3月期 第3四半期決算説明資料

2009年2月4日

この資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「期待」、「計画」、「見込み」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものには限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示されるほかの媒体にも含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた当社の判断にもとづいています。実際の業績は、様々なリスクや不確実な見通しのみで全面的に依拠することはお控えいただけますようお願いいたします。

2009年3月期 第3四半期業績の概要

取締役 財務・管理統括担当 佐藤健太郎

業績の概要

(単位：百万円)

	2008年3月期 第3四半期累計	2009年3月期 第3四半期累計	前年同期比 (%)	(ご参考) 2008年3月期 通期実績
売上高	497	547	+9.9%	674
営業損益	△140	△152	-	△172
経常損益	△139	△150	-	△171
四半期純損益	△119	△152	-	△338

売上高：受託開発売上の増加により、**前年同期比9.9%増**となっています。

売上が増加し一般管理費は削減したものの、開発部門を中心とした人員増および減価償却費の増加により総費用が増加したことにより、営業損失、経常損失ともに前年同期と比べ増加しています。四半期純損失は前年度計上した有価証券売却益(20百万円)が今年度は発生していないため、前年同期比増加幅が大きくなっています。

「売上高」の状況

(単位：百万円)

	2008年3月期 第3四半期累計	2009年3月期 第3四半期累計	前年同期比 (増減額)	(ご参考) 2008年3月期 通期実績
売上高	497	547	+49	674
ソフトウェア 販売	223	125	-97	286
受託開発	274	421	+147	388

ソフトウェア販売の減少は、前年同期に単年度で契約されたソフトウェアが主な要因となっています。一方、主要顧客のソフトウェアは順調に更新されており、今後の事業展開に大きな支障はありません。

SIP搭載端末の実用に向けた受託開発売上は順調に拡大し、前年同期と比べて**53.6%の増加**となっています。

「受注高」の状況

(単位：百万円)

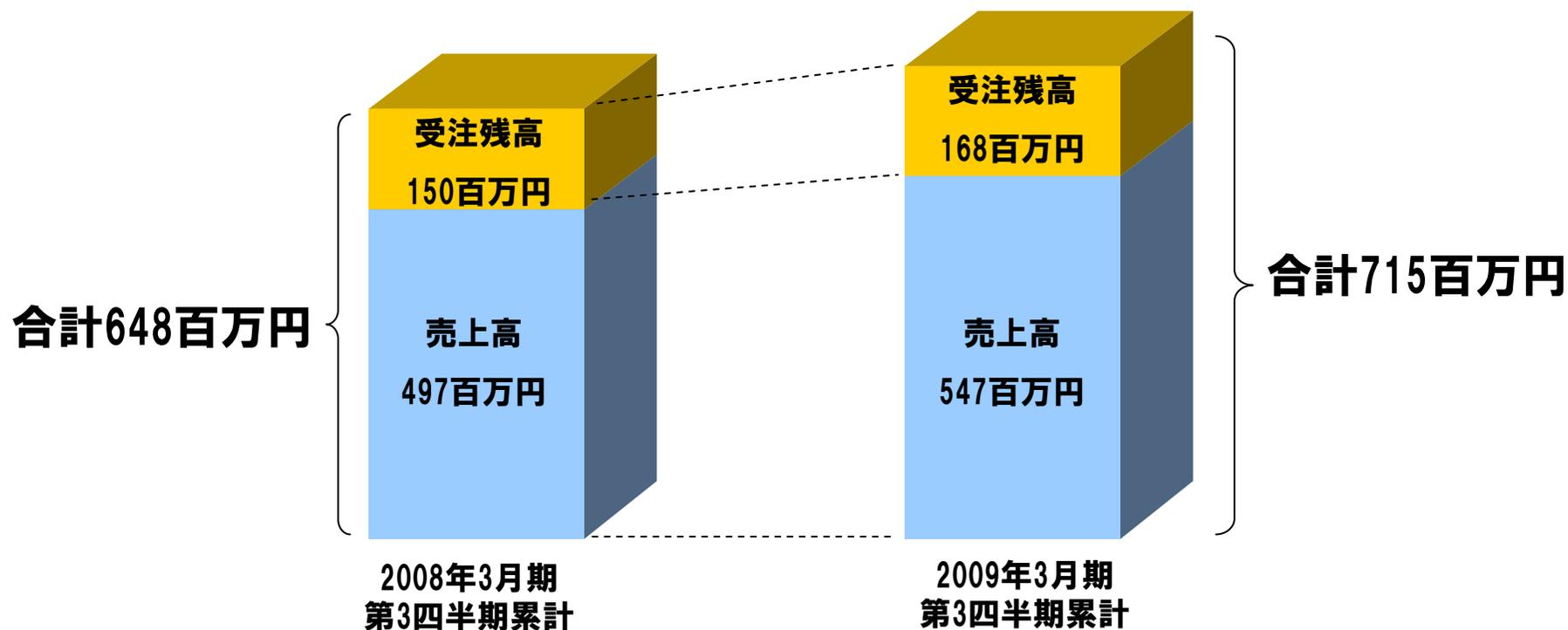
	2008年3月期 第3四半期累計	2009年3月期 第3四半期累計	前年同期比 (増減額)	(ご参考) 2008年3月期 通期実績
受注高	558	648	90	651
受注残高	150	168	18	66

主に主要取引先との取引拡大により、前年同期に比べ**16.2%増加**しています。

第3四半期時点において、昨年通期と同等の受注を獲得できています。

受注残高も前年同期に比べて増加し、第4四半期以降に繰り越される売上が増加しています。

【参考】売上高と受注残高合計の前年同期比較



売上高と受注残高の合計が前年同期に比べ増加しており、
2008年12月末時点で**715百万**まで積みあがっています。

【参考】四半期業績推移

(単位：百万円)

	平成21年3月期 第1四半期	平成21年3月期 第2四半期	平成21年3月期 第3四半期
売上高	125	208	213
営業損益	△ 94	△ 21	△ 36
経常損益	△ 94	△ 20	△ 36
四半期純損益	△ 94	△ 21	△ 36

2009年3月期第3四半期累計：キャッシュ・フローの概要

(単位：百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	△42
税引前四半期純利益	△150
減価償却費	82
売上債権の増減額 (△増加)	△1
仕入債務の増減額 (△減少)	10
その他	16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△55
現金及び現金同等物の増減額	△97
現金及び現金同等物四半期末残高	575
フリー・キャッシュ・フロー	△97

新規事業について

代表取締役社長 阪口克彦

【概要】

- ソフトフロントは、新たに、
**NGN^(※)を活用した Windowsアプリケーション や
Webアプリケーション の開発を容易にする
ソフトウェア開発キット**

の開発に着手し、本年5月 を目処に提供開始いたします。

- 当該開発キットの開発支援ならびに利用促進を目的とし、
本日ソフトフロントは、

日本電信電話株式会社 (NTT)

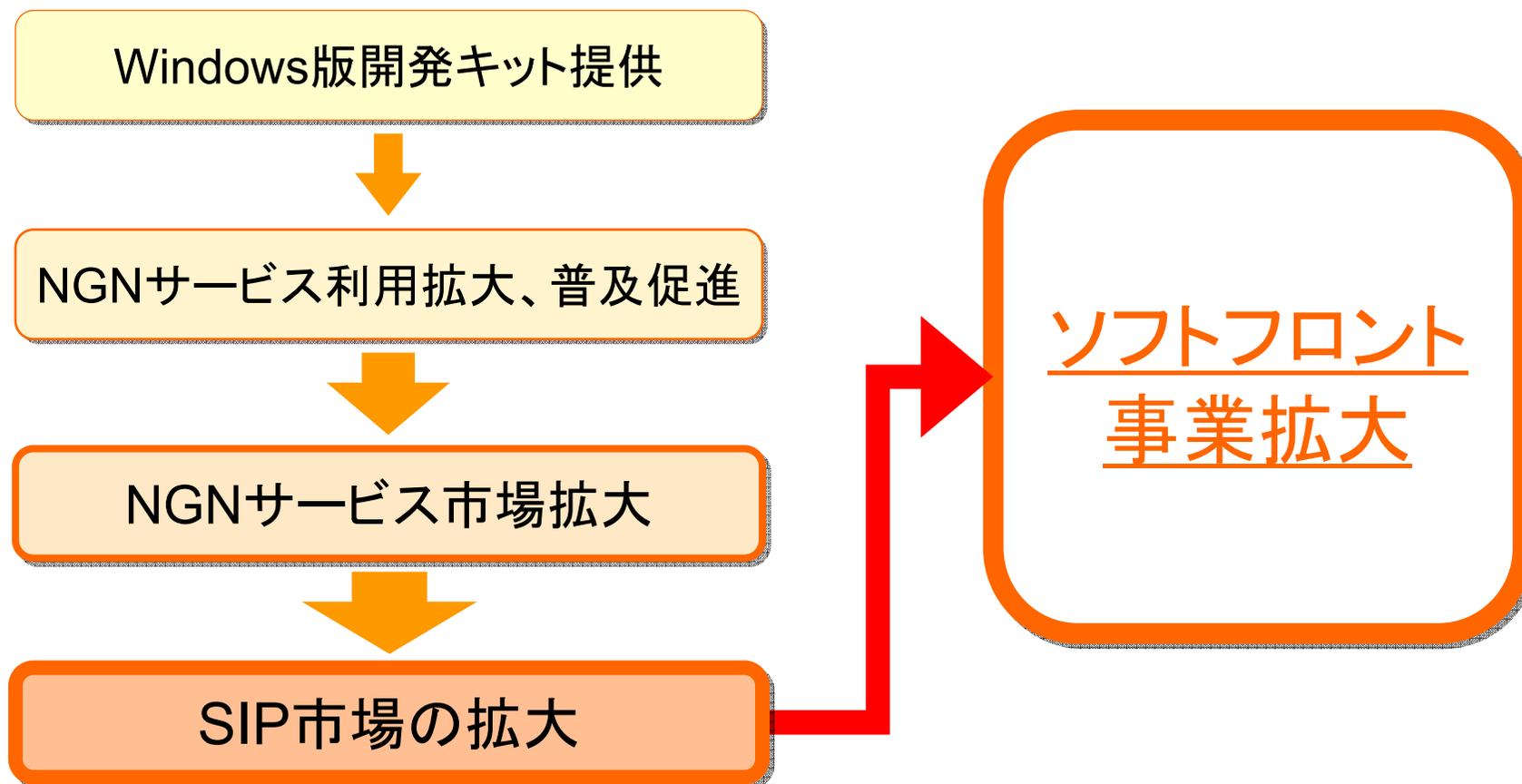
および同社の100%子会社である、

NTTインベストメント・パートナーズ株式会社 (NTT-IP)

と **業務・資本提携** することで合意いたしました。

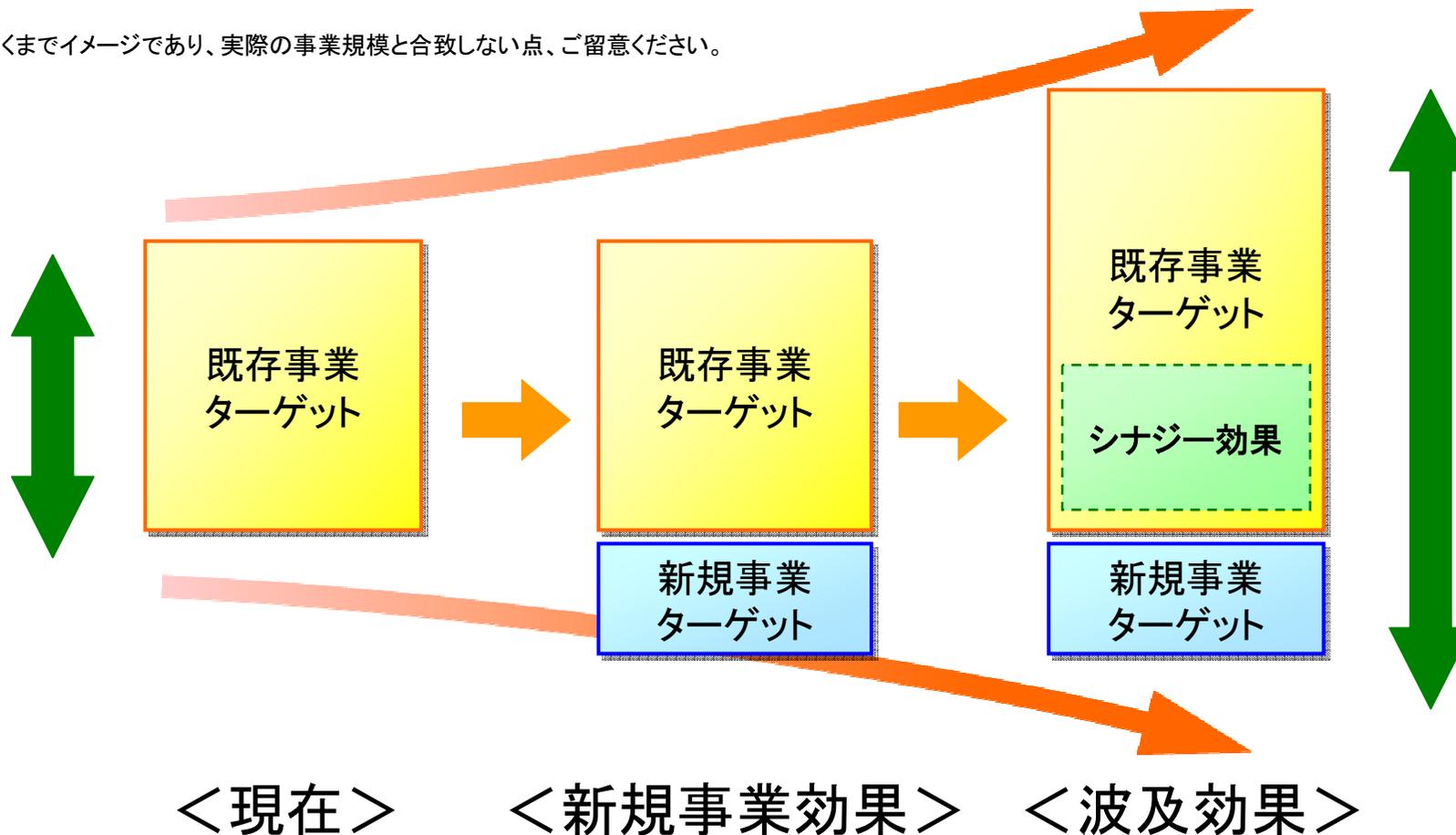
※1 NGN (Next Generation Network) は、これまでの「電話網」をIP (インターネットプロトコル) を活用して置き換え、
新たなサービス基盤を実現する、次世代の通信ネットワークインフラ。
NTTグループでは、NTT東西が、2008年3月より、「フレッツ 光ネクスト」等のサービス名で提供中。

【目的】



【事業拡大イメージ】

※ あくまでイメージであり、実際の事業規模と合致しない点、ご注意ください。

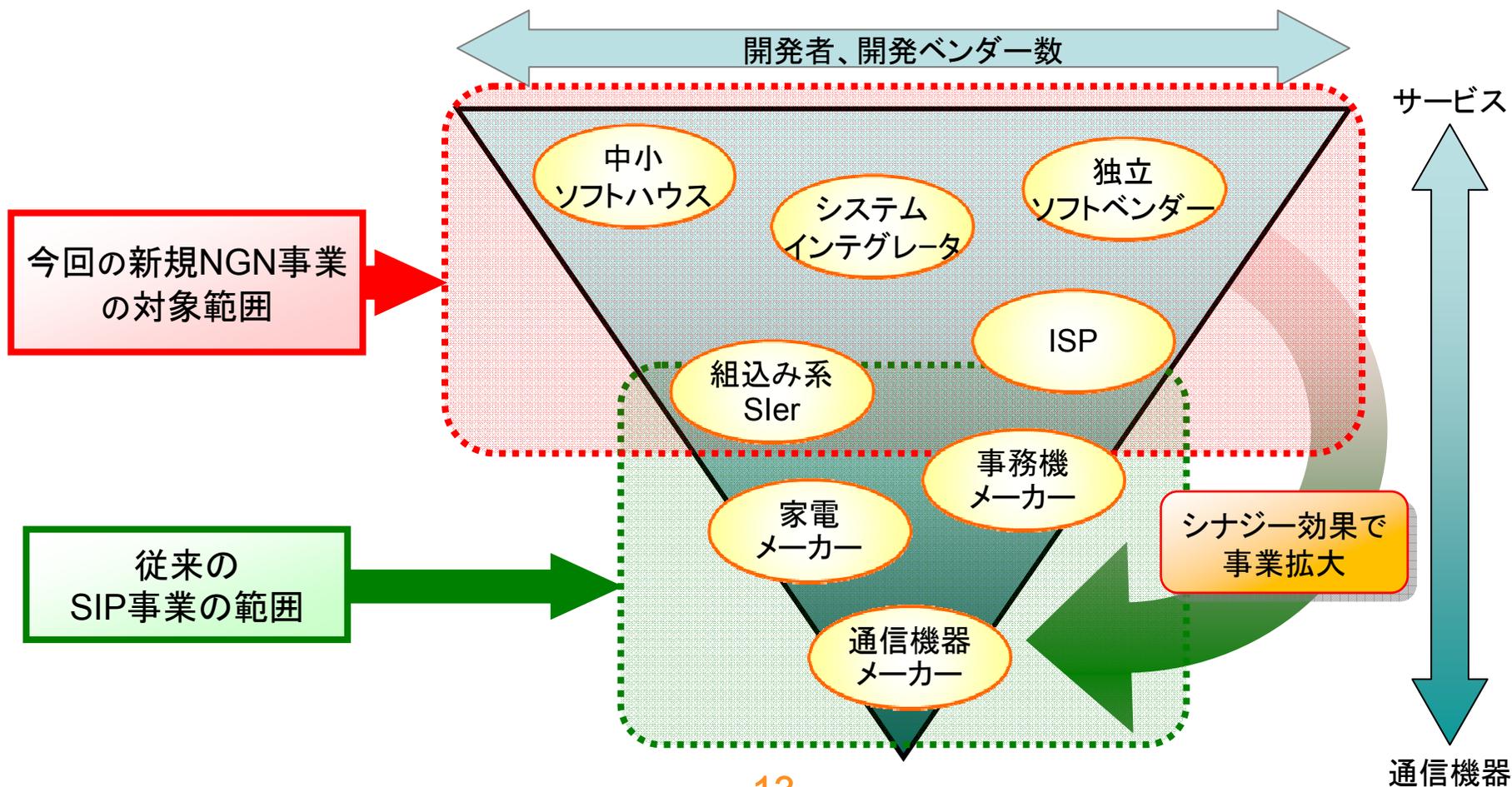


利用範囲が広く、開発者が多いWindowsアプリケーションやWebアプリケーションに向けて事業拡大

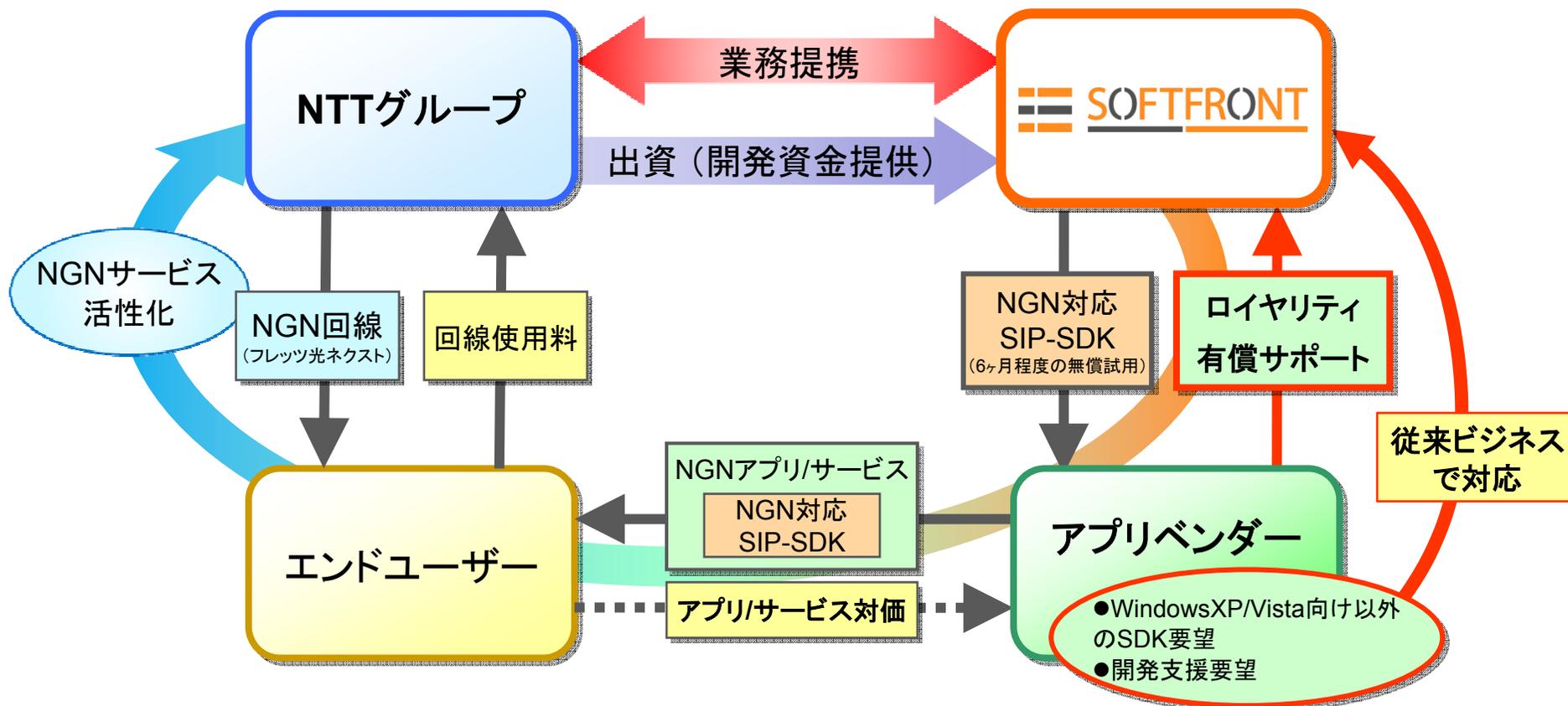
利用シーンが拡大することにより、さらに高度なアプリケーションやWindows以外のプラットフォームに対する需要が拡大

【新規事業によりターゲット市場を拡大】

簡単に開発可能な NGN対応SIP-SDK で、ターゲット市場を拡大し、
既存ターゲット市場をシナジー効果で強化・拡大



【事業概要：ビジネススキーム】



- 本格開発に際した開発サポート収入、および商用サービス展開時のロイヤリティ収入が主な売上となります。
- Windows XP/Vista以外の環境に展開していく場合や、開発作業依頼時には、既存の当社ライセンス有償提供、受託開発請負となるため、従来ビジネスの拡大に寄与することとなります。
- NGNサービスが活性化されることにより、当社のビジネスチャンスが広がり、事業拡大につながります。

【ソフトウェア開発キット概要】

NTT 次世代ネットワーク「NGN」を活用した
Windowsアプリケーション や Webアプリケーション を、
簡単・低コスト に開発できる **NGN端末用 開発キット**



【アプリケーション例①：在宅介護支援サービス】

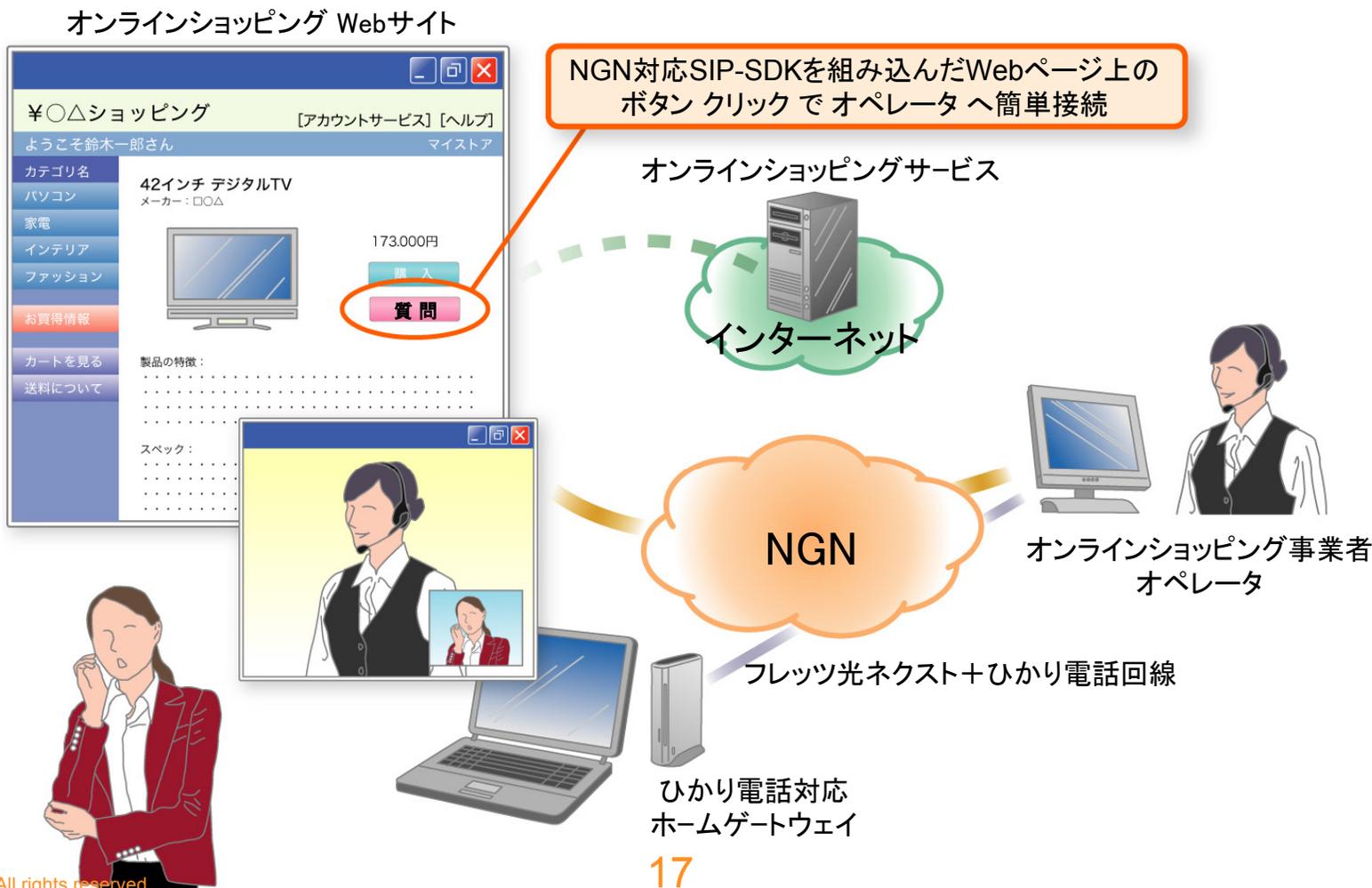
NGN対応SIP-SDKを使った 介護サービス事業者独自の **専用アプリケーション** とパソコンで、**低コストでシステムを実現。**

NGN対応SIP-SDKを使った介護サービス事業者専用アプリ



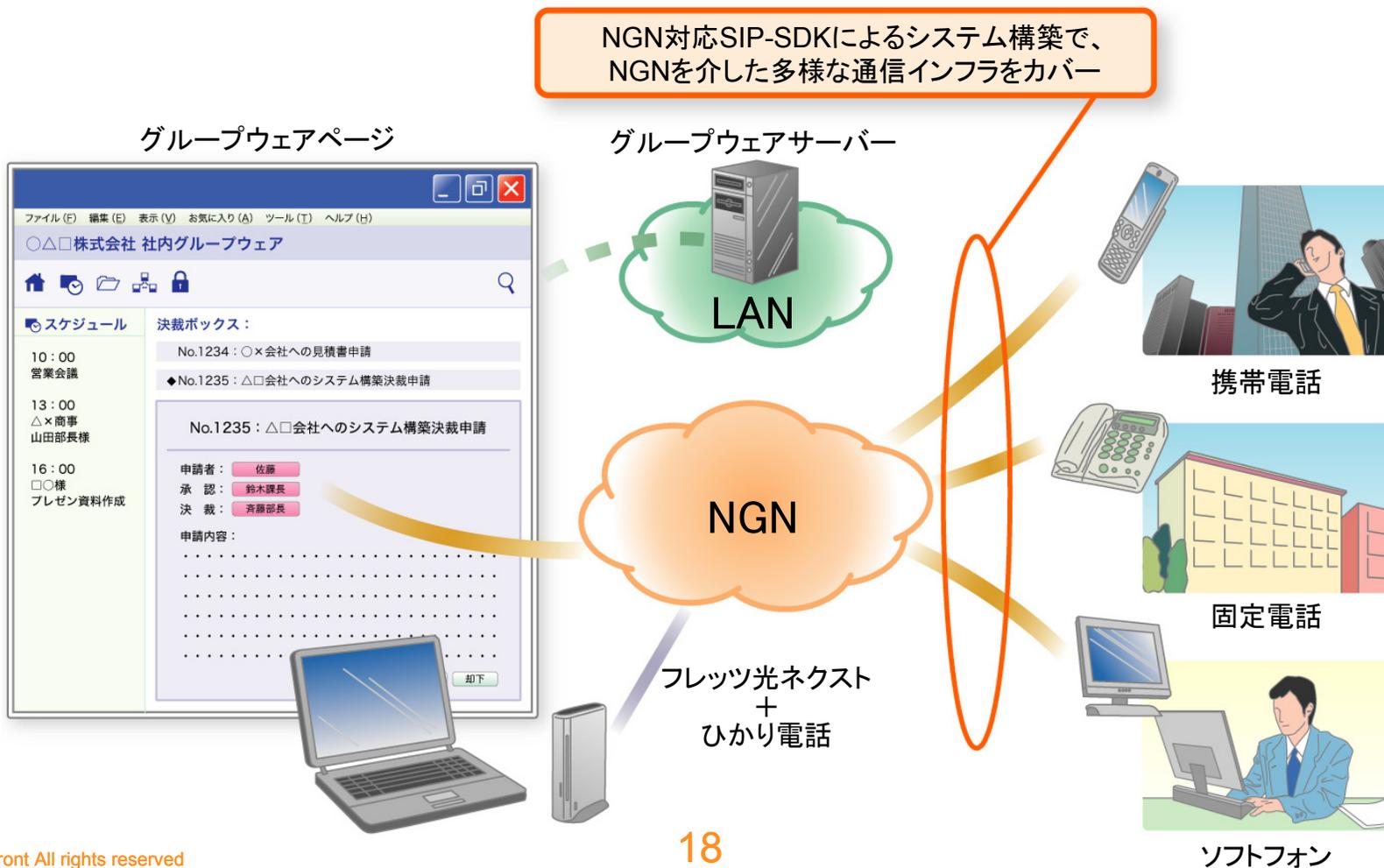
【アプリケーション例②：オンラインショッピングサイト】

NGN対応SIP-SDKを Webページ内に組み込んだ、
インタラクティブなWebアプリケーション で、購入・契約 成約率をアップ。

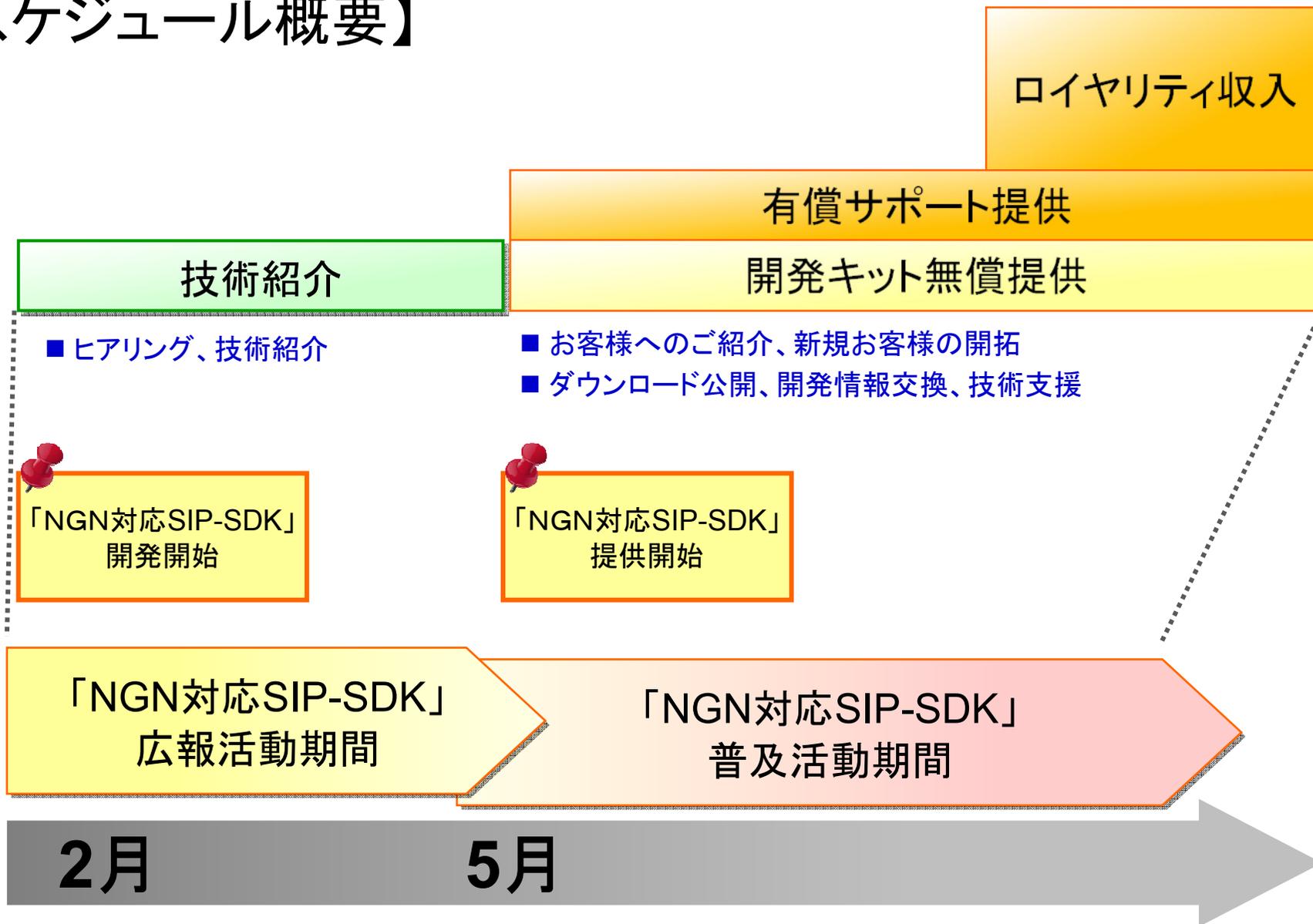


【アプリケーション例③：グループウェア】

NGN対応SIP-SDKにより、**多様な通信インフラに対応**した
コミュニケーション環境を実現し、意思決定や決裁事務スピードを向上。



【スケジュール概要】



【資本提携概要】

本業務提携の関係強化を目的として、

NTT-IP が運営するファンド（NTTインベストメント・パートナーズファンド投資事業組合）を引受先として、第三者割当増資を行います。

このことにより、NTTインベストメント・パートナーズファンド投資事業組合が、当社の第2位株主となります。

平成20年9月30日現在	
村田 利文	8.91%
個人	2.35%
個人	2.16%
株式会社キャピタルバンク	1.88%
大阪証券金融株式会社	0.95%



出資後	
村田 利文	8.36%
NTTインベストメント・パートナーズ ファンド投資事業組合	6.22%
個人	2.21%
個人	2.03%
株式会社キャピタルバンク	1.77%

SIP connects the future

ソフトフロントはSIP技術を基に
社会変革の牽引役となり、豊かな社会を実現します